

セブ島留学を通して

薬学部1年 大石真妃

大学入学前から留学に興味があり、長期休みに留学に行けたらいいなと思っていました。4月のグローバルチャレンジ説明会がきっかけでセブ島留学に行くことを決めました。

寮につくとルームメイトの現地の学生2人と日本人の学生が暖かく出迎えてくれました。朝食は寮の食堂でバイキング、昼夜は4つのメニューから各々好きなものを選びます。食に困ることは全くありませんでした。

アクティビティ多めの授業で最終週には歴史的建造物や現地のホテルにフィールドトリップにも行きました。他県や他国のクラスメイトと英語でコミュニケーションをとり、英語力だけではなくコミュニケーション能力も向上したような気がします。授業が終われば、現地の学生とバディシステムで現地のおすすめの場所やレストランを教えてもらい、放課後にみんなで外出し1ヶ月間毎日がとても楽しかったです。



特に私が印象に残ったのは、セブ島の南にあるオスロブ、アレグリア滝、モアルボアルでのウォーターアクティビティです。ジンベイザメと一緒に泳いだり、現地のガイドの方と一緒にキャニオニングをしたり、ウミガメやイワシの魚群を見ることができ、自然がたくさんある日本でもなかなかできない貴重な体験で最高の思い出になりました。

私のルームメイトはとても親切でフレンドリーで、困った時には助けてくれました。寮内の共有スペースで夜な夜なお互いの課題を手伝い合ったりした日もありまし

た。今でも連絡を取ったりするかけがえのない大切な友達です。

セブ島での留学は、離れた場所や国の友達を作り、温かい文化を体験する素晴らしい機会になりました。たくさんの写真を撮ったり、撮ってもらったり、今でも大切な思い出です。この経験を活かして今後、様々な国に留学や旅行をして現地の方々とコミュニケーションを取ることができたら嬉しいです。

